

継続的な出荷に感謝

じばさんず出荷者14人表彰



JAはだのは8月28日、本所でじばさんずの出荷者14人を表彰した。日頃の継続的な出荷や店舗運営への協力に対する感謝を伝えた。

同店は昨年度、約9億9千万円を売り上げた。今年3月には出荷者の労をねぎらうことも、生産意欲向上につなげるべく、おととしはじばさんず元気のばいばい生産者大会を開催した。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、同店を支える出荷者への感謝を伝えようと、授与式を開いた。

表彰を受けたじばさんず出荷者は、直売所や地域農業のさらなる活性化に貢献した出荷者として、年間売上げが初めて100万円以上となった出荷者2人と、前回の表彰から年間売上げが50万円以上増加した出荷者10人を表彰。野菜、果物、花卉(かき)、茶などのさまざまな分野の出荷者に記念品を贈った。さらに8歳以上で年間100万円以上を売り上げた出荷者2人を特別表彰し、同店オリジナルジャンパーを贈呈した。

山口政雄組合長は「直売所は、出荷者の協力があって成り立つもの。今後も安全・安心な農産物を生産してもらい、秦野を誇りたい」と話した。

児童に農業体験

経営士会 学習の場提供



茶の製造工程を児童に説明する高梨さん

秦野市農業経営士会は、8月24、27、28日の3日間、市内の小学4〜6年生に農業体験学習の場を

花産業への功績評価

加藤さんに県園芸功労賞

県農業技術センターで8日、令和元年度花き関係褒賞授与式が開かれ、園芸功労賞や県花き立毛共進会などの表彰が行われた。平沢の加藤宗雅さん、園芸協会の園芸強化や花き産業の発展に功労賞を受賞。共進会では、露地切花部門で平沢



園芸功労賞を受賞した加藤さん。加藤さんは「県内の仲間との協力のおかげで組織活動を進めることができ」と笑顔で話した。

J A はだの

発行 秦野市 農業協同組合 (神奈川県)
〒257-0015 秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 宮永 均
印刷所 株式会社JA情報サービス

今月の特集 4〜5面

地域一体で落花生を振興
市特産の落花生。農家は、収穫体験の場を用意している。JAは栽培技術向上に向け共進会を開く他、じばさんずPR。地域一体となり振興に取り組む。

9月訪問日もポスト投函
9月の組合員訪問日は、先月に引き続き訪問方法を簡略化し、機関紙「JAはだの」のポスト投函での対応とさせていただきます。

特定生産緑地制度 手続きをサポート
JAは市と連携し、特定生産緑地制度の指定手

続きをサポートしています。10月14日(水)まで、各支所・支店へ提出書類の事前確認を受け付けています。(5面に関連記事)



蒸かしたてのまんじゅうを並べる大澤さん

十五夜に月見まんじゅう

加平高出荷者の作るまんじゅうが、じばさんずで人気を集めている。市内では古くから9月15日を十五夜として、まんじゅうを供えて土の恵みを神に感謝する習わしがある。現在は習わしを合わせた十五夜の日に供え物を



する家庭も多い。今年十五夜は10月1日。出荷者の一人、菩提の大澤路子さんは、毎年9月15日と十五夜に合わせて量を増やし、多い日は500個を作る。大澤さんは「秦野ならではの伝統文化を伝えていきたい」と笑顔を見せた。

今年度の「秋の座談会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催方法は変更します。皆さんの意見・要望をメールやFAXなどでお寄せください。

上半期事業にご意見を
10月9日(金)まで
月9日(金)まで
上記のQRコードを読み取ってメールを送信するか「意見・要望書」をFAXまたは本所・各支所・支店に直接提出してください。

市内初 ライスセンター発足

生産者の労力軽減 JAが看板を寄贈



宮永専務理事(左)から看板を受け取る澤村代表

鶴巻地区で、鶴巻営農組合の有志が運営する「鶴巻ライスセンター」が発足した。市内で初めて、米の共同乾燥調製施設を開業。調製作業も他、農産物検査や集荷もセンター施設内で行う体制を整えた。米の出荷ま

足が進む米の生産者の労力軽減につながる。同地区には、約23の田んぼが広がっている。これまで米の収穫後、農家が個々にもみの乾燥などの調製作業を進め、各自で農産物検査場所の大根支所まで運んでいた。近年は生産者の高齢化や担い手不足で、調製や運搬の作業が負担となっていた。そこで鶴巻営農組合のメンバーが共同乾燥調製施設を設置を提案し、開設に向けて検討を進めてきた。

6日は、澤村雄代表らが施設内で開所式を行い、JAの宮永均専務理事や今井実市議会議長らが出席して祝辞を述べた。その後、宮永専務が澤村代表に看板を贈呈した。

センターは、設置に賛同した22人が設立。バラの温室団地の1棟を改装し、施設内には乾燥機やもみすり機、穀粒選別機を用意した。収穫した米を施設に持ち込めば、乾燥から袋詰めまでの作業が1カ所できる。そのまま検査・出荷も可能なので、貯蔵や運搬の手間がなくなり、効率性がアップする。

7月にはおりの1基に、センサーが動物を感じると扉が閉まる自動捕獲システムを導入した。今年9月には鹿を捕らせた。その後、システムを再びセットするため、はだの都市農業支援センター職員も協力し、使用方法を再確認した。

千村2生産組合の岡部靖組合長は「被害を減らすため、今後システムを活用しながら、協力しての管理を続けていきたい」と意気込む。

動物の自動捕獲システム 生産組合がセット方法確認

千村1A、1B、2生産組合の組合員4人は16日、捕獲器で使用する自動捕獲システムのセット方法を確認した。三つの生産組合は、6人の組合員が協力して、おりなどの管理を徹底している。1週間交代の当番表を作り、地区内に設置する2基の捕獲器に3個のくわわを巡り、餌の補充などの管理



システムのセット方法を確認する組合員

を共同で行っている。千村2生産組合の岡部靖組合長は「被害を減らすため、今後システムを活用しながら、協力しての管理を続けていきたい」と意気込む。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

キウイ「丹沢レッド」 品質を高め ブランド化

市内で、果肉の赤い早生種のキウイフルーツ「丹沢レッド」が収穫時



約40坪の園で栽培している。枝の成長が旺盛で着果数が多いため、剪定(せんてい)や摘果などの作業が重要となる。同部は病害虫の防除や施肥のタイミングなどを記載したマニュアルを作成した。

「丹沢レッド」は完熟すると18、20ほどになる高い糖度と食味の良さが特徴のキウイフルーツ。同部では部員11人が約40坪の園で栽培している。枝の成長が旺盛で着果数が多いため、剪定(せんてい)や摘果などの作業が重要となる。同部は病害虫の防除や施肥のタイミングなどを記載したマニュアルを作成した。

秋の味覚味わって 良質な栗いち早く出荷

果樹部会くくり部が2、持ち込んだ。今年も美が日、栗の出荷をスタート。肥大する8月中旬に雨が少なかったため粒は小さく、品質の良い栗に



栗を選果器で仕分けする小澤部長。栗は選果器で仕分けする小澤部長。栗は選果器で仕分けする小澤部長。栗は選果器で仕分けする小澤部長。

部員は、早生種の「出雲」「国見」などを中心に栽培。主産地の栗が中心に栽培。主産地の栗が中心に栽培。主産地の栗が中心に栽培。

支所運営委が脱莢 体験を企画

地域住民ら12人が参加



本町支所運営委員会は12、会メンバーの農家の指導で、上大槻で落花生の収穫、作業を体験した。体験を受けた。地域との交流、収穫体験の実施日は当初、悪天候の予報があったため中止を検討していたが、しきりに感動していたと、父からの体験を教え、立毛共進会は畑での栽培

立毛共進会で技術競う

選出 8点を

J Aは、市内の落花花生の栽培技術向上につなげるべく、31年前から立毛共進会に審査。センター職員らが本所に持ち帰ったサンプルを審査し、総合的に評価した。品質と収量は、各生産者を付け、総合的に評価した。

落花生

魅力発信／地域一体で振興

観光農園で掘り取り 満喫CLUB 会員にも情報



落花花生を収穫する来園者。落花花生を収穫する来園者。落花花生を収穫する来園者。

落花花生は、秦野市を代表する特産物の一つ。市内では、農家が掘り取り園を開園する他、支所運営委員会が収穫体験を企画した。J Aは落花花生共進会を開き、生産者の栽培技術向上に「一役、じばさんずでは落花花生のコーナーを設置し、来店者に秦野の特産物をPRしている。地域が一体となって、落花花生振興に力を入れている。



落花花生を審査するセンター職員

少なかったが、秦野の落花花生の魅力を知らせてもらおうと、市内3カ所の園が体験を受け入れた。今年も体験できて良かったと笑顔。供し、落花花生のおいしさを多くの人に知ってもらいたいと話した。

特定生産緑地制度に対応を J Aと市が説明会。J Aは、市が2021年12月から始める中学校給食について、部員に農産物供給の協力を依頼。現在取り組んでいる小学校給食やじばさんずへの出荷量は減らさず、中学校給食にも供給を始める意向であることを説明した上で、営業規模の拡大に意欲的な若手農家の協力を呼び掛けた。



店頭に並ぶ新鮮な落花花生

じばさんずで、農家が出ている。落花花生は多くの消費者に手に入る。落花花生は多くの消費者に手に入る。落花花生は多くの消費者に手に入る。

特定生産緑地の概要を説明。特定生産緑地の概要を説明。特定生産緑地の概要を説明。

発見 眞長りょう

命の営みを写真に



堀西在住の市川節子さん。群馬県出身で、大学を卒業後、厚木市の小学校に勤務。結婚後は秦野市に移住し、子育てと両立しながら市内の小中学校や公民館で勤務してきた。カメラが趣味で、市川さんが撮影した写真は、この本に収録されている。



顕微鏡でイチゴの花芽分化を確認

イチゴの花芽分化を調査。調査は、花芽分化の状態や苗の窒素量を確認すること、定植適期の目安を知ることで、栽培管理に重要な。職員らは、イチゴ苗が花芽分化に適した硝酸窒素濃度になっているかをピクルスを作る受講生

ピクルス作り 実習セミナー。市民農業塾。市民農業塾。市民農業塾。

堀西の一市川 節子さん。堀西在住の市川節子さん。群馬県出身で、大学を卒業後、厚木市の小学校に勤務。結婚後は秦野市に移住し、子育てと両立しながら市内の小中学校や公民館で勤務してきた。カメラが趣味で、市川さんが撮影した写真は、この本に収録されている。

やさい部会くくり部は10日、本所農業団地センターの土壌診断室で、イチゴの花芽分化調査を行った。県農業技術センターやJ A営業課の職員が、部員の持ち寄ったイチゴ苗を調査した。

ピクルス作り 実習セミナー。市民農業塾。市民農業塾。市民農業塾。

本所農業団地センターで行った受講生3人が、ピクルスの作り方や加熱殺菌のポイントを学んだ。講師を務める県農業技術センターの職員が、加熱殺菌の方法を解説。加工品の種類によって加熱する温度や時間が異なることを伝えた。

彼岸用小菊 出荷盛んに

厳しい気象も高品質

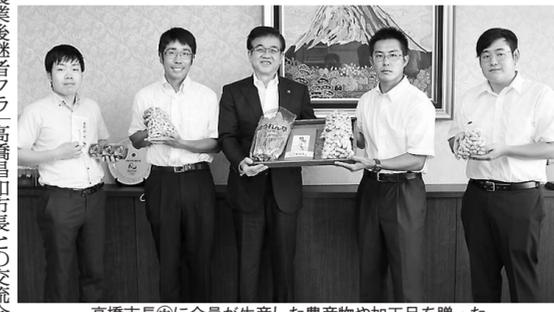
県内トップの小菊の生産量を誇る秦野市で9月中旬、彼岸向け小菊の収穫がピークを迎えた。花き部会露地部の部員らは、連日収穫に汗を流した。



小菊の生育を確認する柳川さん

部員の柳川賢治さんの基本を徹底し、良質な小菊を生産。毎年新しい品種も取り入れ、栽培技術も磨いている。今年7月の長雨と8月の暑さで、病気や害虫の発生が心配されたため、柳川さんは例年以上

今後の発展へ意見交換 秦友会



高橋市長に会員が生産した農産物や加工品を贈った

秦野市農業後継者クラブ 高橋昌和市長との交流会「秦友会」は8月28日、高橋市長と交流の日、秦野市役所を訪れ、今後の農業の発展に向け

て市長と意見を交わした。会員は、それぞれが生産した農産物や加工品を高橋市長に贈り、日頃の支援に対する感謝を伝えた。その後、新東名高速道路のスマートインターチェンジ(ICC)の完成に向けた観光農業へのさ

らなる取り組みや、農業を効率的に進めるために機械を導入する際の際には、若手の力が必要。市が積極的にサポートしていくので、これからは頑張っていきたい」とエールを送った。



もみの色を説明するセンター職員

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色



もみの色を説明するセンター職員

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

若手農家が市長と交流会

秦野市農業後継者クラブ 高橋昌和市長との交流会「秦友会」は8月28日、高橋市長と交流の日、秦野市役所を訪れ、今後の農業の発展に向け

良質な米の出荷へ 収穫適期見極めを

3カ所の水田で現地検討会

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

JAはだのは9日、市者37人に収穫時期の見極め方や今後の出荷に向けた注意点を伝えた。良質な米の生産をサポートしようと、生産職員が、もみの根元の色

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選) 鎌倉の寺をゆるむと秋の道 森高 由子(渋沢) 稲妻や静脈白く浮きあがる 高島美和子(名古屋) 青北風や虎彦の句碑湖に近し 吉田 清美(渋沢) サンセットビーチの黒き影晩夏 菊池としえ(菩提) 稲妻を逃げて駆け込む喫茶店 志賀 明子(千村) 新涼や金時望む夕日の滝 芦川 松江(八沢) 童らの蟻の行列さわつて 柴崎 和子(渋沢) クレートの影伸びゆく秋の日の夕べ 高橋 順子(大森町) 九十九折れ至る味の濃竜胆 柳川みち子(栄町) 青北風の首を奪いに稲光 佐藤英美子(南矢名) 紛争の種子を眼下に雁渡る 八木 実(鶴巻北)

今月の理事会

9月24日に理事会を開催し、次のことを審議しました。 2020年度上半期事業報告について 2020年度下半期事業報告について 2020年度下半期事業報告について

家庭にある食品提供を

女性部は、持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みとして、フードドライブ(食品の寄付)を実施します。食品の提供にご協力ください。 女性部は、持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みとして、フードドライブ(食品の寄付)を実施します。食品の提供にご協力ください。

女性部がフードドライブ



女性部は、持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みとして、フードドライブ(食品の寄付)を実施します。食品の提供にご協力ください。

タマネギ資材

JAグリーンはだの10月10日(土)〜18日(日)、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを実施します。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売します。

JAグリーンは農家を応援します

お問合わせはJAグリーンはだのまで。081-7719

キャンペーン

お問合わせはJAグリーンはだのまで。081-7719

受賞おめでとう!

日頃の成果を發揮 第31回秦野市落花生立

営農技術 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (内山・島田) 農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

鳥獣害

イノシシ・鹿から畑を守る物理柵

鳥獣害

イノシシ・鹿から畑を守る物理柵

サツマイモのカステラ風

東支部 合田 久美子さん

鳥獣害

イノシシ・鹿から畑を守る物理柵

鳥獣害

イノシシ・鹿から畑を守る物理柵

鳥獣害

イノシシ・鹿から畑を守る物理柵

農業者年金に加入し老後に備えを

保険料は月額2万円から6万7000円の間の年金等控除の対象となる。65歳以上の方であれば、1000円単位で選択可能。保険料は、収入額が10万円までは8000円、10万円を超えては8000円。

農作業事故、ゼロへ

10月末まで秋期安全運動

88歳(米寿)

本町地区市川由夫(菅屋) 東地区小泉一雄(名古屋) 南地区石塚利恵子(名古屋) 今泉 小池光代(清水町) 西地区佐藤弓枝(堀川)

家の光 今月の新刊

人生で大事なことはみんなゴリラから教わった

告知板

加工相談会を開催
農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。
○日時 10月15日(木) 午前10時～午後3時
○場所 本所農業団地センター2階 調理実習室(午前)・本所2階大会議室(午後)
○内容 午前は、県農業技術センターの職員による落花生を使った加工品の紹介。午後は、加工品出荷者との意見交換会を行います。
お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

ローソンの併用可能
○融資期間 1年以上10年以内
○申し込み期限 12月30日(水)まで
○利用には条件・審査などがあります。詳しくは各支所・支店または融資課まで。☎81-7713

米穀の検査集荷
米穀の検査集荷を左表の通り実施します。持ち帰り検査を希望する方は、○印の検査日(計4回)にお願いします。10月20日(火)は持ち帰りのみの実施です。ぜひご利用ください。
また、庭先集荷を希望する方は、3営業日前までに各支所へお申し出ください。集荷運賃は一袋(30kg)当たり60円で、口座から引き落としとなります。☎81-7718

実質無利子の教育ローン取り扱い
新型コロナウイルス感染症により影響を受けている家庭の教育資金を支援するため「JA教育ローン(県事業対応型)」を取り扱っています。県の「学生生活資金利子補給事業」に対応したもので、県が利子を負担するため、実質無利子で利用できます。
○対象 神奈川県内に在住し、大学・短期大学・高等専門学校・専門学校に就学中の方がいる家庭
○融資金額 10万円以上50万円以内(50万円を超える場合は通常の教育

検査予定日	検査場所	該当地域
9月28日(月)◎	大根支所	大根
9月29日(火)	鶴巻ライスセンター	鶴巻ライスセンター
10月1日(木)◎	大根支所	大根
10月6日(火)◎	本所	大根以外の全地域
10月8日(木)	大根支所	大根
10月13日(火)	大根支所	大根
10月15日(木)	鶴巻ライスセンター	鶴巻ライスセンター
10月20日(火)◎	本所	全地域持ち帰り検査のみ
10月22日(木)	大根支所	大根
10月29日(木)	大根支所	大根
11月5日(木)	本所	大根以外の全地域

じばさんず NEWS

【10月のイベント】
☆「十五夜・十三夜」1日(木)、29日(木) 農家のお母さんが真心込めて作ったまんじゅうを販売します。
☆「豆腐の日」2日(金) 地元のお豆腐屋さんの商品を特別価格で販売します。
☆「旬の果物・野菜フェア」3日(土)、4日(日)、17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)、31日(土) 秦野産の旬の果物や野菜にスポットを当てて販売します。
☆「産地商品の特売」6日(火)、20日(火)、27日(火) 産地間提携を結ぶJAの野菜や加工品などを特別価格で販売します。
☆「国産豚の加工品」16日(金) ㈱フリーデンが国産豚を使用したお肉な商品を販売します。
☆「ハロウィーン」31日(土) ハロウィーンカボチャやお菓子などをご用意します。
☆「めんそーれ!沖縄フェア」1日(木)～31日(土) 沖縄県の産地間提携先ファーマーズマーケットから仕入れた定番の人気商品や新商品など、さまざまな商品をご用意します。
☆「新米フェア」10日(土)、11日(日)を予定 秦野産「はるみ」の新米などを販売します。
☆「たまごの日」毎週月、金曜日



平沢の 加藤 英俊さん

サツマイモやサトイモの他、リンゴや柿、ミカンなど年間20品目以上
品質の良い農産物を生産するため、小まめに畑を見て回るなど病害虫防除の徹底を心掛けています。出荷と一緒にドレッシングであえてサラダに入れたりして食べるのがお勧めです。ぜひ試してみてください。

お問合わせは営業課まで。☎81-7718

じばさんずパートナー
じばさんずのパートナーバイトスタッフを募集しています。働きやすさ、お電話でOK、業務内容、レッスンお品出しなど
○時給 1,025円
○時間 午前8時～午後7時 ※時間内でシフト制
○待遇 社会保険完備・交通費規定支給・車両通勤可
お問い合わせは、じばさんずまで。☎81-7717

組合員資格確認のお願い
JA定款規定により、組合員の皆さまに組合員資格の確認をお願いしております。組合員資格要件に変更がある場合は、直ちにその旨を書面で届けていただく必要があります。
【正組合員資格】
・耕作する土地が10坪以上である
・農業従事日数が1年のうち90日以上である
【法人正組合員資格】
・事務所または経営に係る土地が秦野市内にある

継続して組合の事業を利用する方
組合員資格の喪失の他、住所・氏名・電話番号などに変更がある場合には、各支所・支店窓口までご連絡ください。
野焼きと農薬使用について
屋外での焼却(野焼き)は「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」で規制されています。農業者については、自己の農業・林業の作業に伴って行う焼却は、軽微なものに限り、例外として認められています。
やむを得ず農地などで野焼きを行う際は、マル

住宅地に隣接する土地
などでの農業使用は「農林水産省・消費安全局 環境省水・大気環境局長通知」で使用者の順守事項が規定されています。
やむを得ず使用する場合は、飛散・臭気などによる周囲の生活環境への影響がないように、事前に取り除き、煙などによる周囲の生活環境への影響がないように、乾燥させてから少量ずつ焼却してください。風向き、時間帯などの配慮をお願いします。なお、生活ごみや剪定(せんてい)枝などは、市の収集日に出すなど、決められた方法で処理してください。
○所在・地番 秦野市 堀山下56番1
○地目 畑
○面積 2,012.96平方メートル
農業に従事される方で、生産緑地として取得を希望される方は、市農業委員会事務局農地利用担当へご連絡を。☎82-96554

子どもたちのプラスチックを取り除き、煙などによる周囲の生活環境への影響がないように、乾燥させてから少量ずつ焼却してください。風向き、時間帯などの配慮をお願いします。なお、生活ごみや剪定(せんてい)枝などは、市の収集日に出すなど、決められた方法で処理してください。

持続可能な社会目指す

東支部がSDGs学習会



SDGsについて学ぶ部員

17の目標を確認し理解

女性部東支部は10日、国連の定めた持続可能な開発目標(SDGs)の学習会を東支所で開いた。部員14人が参加し、SDGsの17の目標について学んだ。

同支部は、毎月支部会を月刊誌『家の光』の読み合わせをして、以前からSDGsに関する記事に注目していた。また、同支部の小澤静江さんが「JAはたの家の光大会」でSDGsについて発表する活動について発表したこともあり、部員たちの関心が集まっていた。部員から「この機会に、改めてSDGsについて基礎から学びたい」との声があつたため、学習会を開いた。

学習会では(社)家の光協会関東甲信越普及文化局長の橋本智也氏が講師を務めた。写真やイラストが掲載された資料を使い、具体例を挙げながら17の目標について分かりやすく説明、協同組合の相互扶助精神とSDGsが目指す社会の親和性が高く、女性部活動



熊澤代表ら④が色鉛筆を贈呈

塗り絵を楽しんで デイサービスに色鉛筆贈る

女性部目的別趣味グループ「ひばりの会」は7日、JAデイサービスセンターに色鉛筆を3セット贈った。ボランティア活動に励む同会が利用者のために購入したものを、熊澤歌子代表と大森よしみさんが、甲斐さとみ所長に手渡した。

同会は月に一度センターを訪れ、利用者へお茶の配膳やドライヤー掛けの手伝いの他、年に数回のレクリエーションで利用者と交流を深めていた。しかし、センターは3月から新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの受け入れを中止した。同会の活動も停止を余儀なくされた。

熊澤代表は「今は活動の場が限られているを見つけていただけることを、少しでも利用者の方々の力になりたい」と話した。



水墨画「墨水会」

私たちは、水墨画の目的別趣味グループ「墨水会」として8年前から活動しています。描いた作品は『家の光』クッキングフェスタや農業まつり、文化交流会などで展示しています。その他、秦野市立宮永岳彦記念美術館や東京都美術館にも展示し、他のグループとの交流を深めています。

水墨画の先生が韓国の方なので、旅行と一緒に韓国に行つた時に案内をしていただき、韓国の文化を学んだりおいしい料理を食べたりしました。これからもグループの仲間と楽しく活動していきたいと思います。



支部だより

東支部 布製マスク作り 25日、東支所で布製マスクを作った。部員13人が参加し、縫い方を確認しながら手作業で丁寧につくった。部員は『家の光』2020年7月号に掲載された記事を参考に作製。型と潤いを与える栄養素が「ヘチマ化粧水」を作った。部員23人が参加した。「ヘチマ水」には、皮膚細胞の活性化や肌にも栄養を含まれているといわれていることから、化粧水な



支部だより

南支部 ヘチマ化粧水作り 10日、南支所で「ヘチマ化粧水」を作った。部員23人が参加した。「ヘチマ水」には、皮膚細胞の活性化や肌にも栄養を含まれているといわれていることから、化粧水な

10月の女性部行事予定表

1日(木)	10:00~	そば打ち講習会(北・西・上)
2日(金)	10:00~	本部役員会
6日(火)	13:30~	SDGs学習会
	10:00~	第1回フレッシュミセスのつどい
7日(水)	9:30~	南支部「布製マスク作り」
12日(月)	9:30~	支部役員会(大根・本町・南)
	13:30~	支部役員会(北・西・上)
	14:30~	北支部「ゴミの減量について」の学習会
13日(火)	13:30~	支部役員会(東)
21日(水)	9:30~	東支部「中間処理施設見学」

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

大根支部

廃油せっけん作り 大根支部は17日、大根支所の敷地内で廃油せっけんを作った。部員24人が、カセイソーダと使用済みの食用油をよく混ぜ、牛乳パック24本分を作った。せっけんは各自で持ち帰り、4〜5日かけて固めた後、使いやすい大きさに切って天日干しで完成させた。

廃油せっけんは、泥汚れや風呂場などの汚れが落ちやすいと、部員から好評だ。